



▲子どもたちの演奏に合わせて、見事に舞う横山火伏せの獅子舞

津山もくもくランド秋祭り 楽しいイベント盛りだくさん

道の駅「津山」もくもくランドで10月23日、「もくもくランド秋祭り」が開催されました。会場には市内外から大勢の人が訪れ、特産品販売や新米もちつき大会、ビンゴゲームなど、さまざまなイベントを楽しみました。また、会場内の特設ステージでは第35回津山地区文化祭が行われ、太鼓や踊り、謡曲などが披露されると、その見事な発表に会場から盛大な拍手が送られました。祭りの最後には豪華景品が当たるお楽しみ抽選会が行われ、会場内は大いに盛り上がりました。

東和で秋まつり 秋の恵みと祭りを楽しむ

恒例の東和の秋まつりが11月5日、東和総合支所西側特設会場で開催されました。ステージでは、町内の小中学校生徒や文化協会の皆さんによる合唱や踊り、特別ゲスト石巻「スコッパーズ」を招いての三味線ショーなどが行われました。また、東和総合支所内で小中学校、恵泉会、文化協会の皆さんの作品展示が行われたほか、農産物林産物販売や軽食バザー、東和中の起業販売コーナーなどたくさんのテントが出店し、市内外からの大勢の来場者で会場は終始にぎわっていました。



▲多くの買い物客でにぎわう、東和中の生徒による「起業販売テント」

登米「どんぐりの家」大根掘り体験 おいしい大根を皆で収穫

登米障害者地域活動支援センター「どんぐりの家」の利用者が11月17日、寺池上町地区にある畑で大根掘り体験をしました。この事業は、地域交流活動の一環として行われ、センターの利用者や職員など10人が参加。地元の方のご好意により、約3アールの畑の一角に栽培された大根を収穫し、収穫した大根は豚汁にして参加者全員で食べました。普段はセンターで、布の裁断や電気部品の組み立てなどの作業をしている皆さんは、豊かな秋の恵みを喜びながら、楽しいひとときを過ごしました。



▲新鮮でおいしそうなお大根を、たくさん収穫しました



▲南三陸町水戸辺地区に伝承されている郷土芸能「水戸辺鹿子踊」

南方で文化交流の集い 郷土芸能と郷土料理で交流

イオン南方跡地仮設住宅集会所において、11月3日、東郷・中央地区コミュニティ推進協議会が「鹿子踊りと郷土料理の文化交流の集い」を開催しました。この集いは、仮設住宅に入居している皆さんと、地域住民の交流を図ろうと協働のまちづくり地域交付金事業を活用し実施されたもので、参加者は、南三陸町水戸辺地区に伝わる鹿子踊りの演舞や、市の郷土料理であるはっと汁が振る舞われるなど、さわやかな秋晴れの中、お互いの郷土芸能や郷土料理を堪能し交流を深めていました。



▲多くの御霊の鎮魂を祈り、舞を披露する上町法印神楽の皆さん

豊里地区市民文化祭 見事な作品や演目が一堂に

豊里地区市民文化祭が10月29・30日の2日間、豊里公民館において開催されました。文化祭では、2日にわたり保育園児や幼稚園児・豊里小・中学校の児童生徒の絵画などや町域内の福祉施設を利用されている皆さんの作品展示が行われたほか、30日には豊里文化協会加盟団体による芸能発表会が開催されました。出演者は、舞踊や民謡など日ごろの練習の成果をステージで披露し、宮城県無形文化財指定の上町法印神楽では、小学校5年生の児童による鎮魂の舞「両天」が披露されました。

中田で秋まつり開催 巨大かっぱ巻きの記録を更新

「第25回なかだの秋まつり」が11月5・6の2日間、市役所中田庁舎を主会場に開催され、市内外から約1万人が訪れました。秋まつりでは、農業祭・文化祭・盆栽展のほか、野外ステージでは爆笑ステージやバンド演奏、よさこいなどが行われ、会場はたくさんの拍手と笑い声であふれていました。また、中田の特産品のきゅうりを使った「かっぱ巻き!長さに挑戦」には、親子連れなど250人以上が参加し、見事119mの巨大かっぱ巻きを完成させました。



▲大勢の人が参加し、昨年より1m長い巨大かっぱ巻きが完成